

株主の皆様とテクマトリックスをつなぐIRマガジン「テクマティズム」

TECHMATISM

TechM@trix

証券コード 3762

第32期 第2四半期報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

Insight into the future

いたるところで
テクマトが。



テクマトリックス株式会社

将来のあるべき姿を見据え、
その実現に向けて
基盤づくりを進めていきます。

代表取締役社長 由利 孝

2016年3月期第2四半期までの状況

国内ITセクター全般は、インフラ系・ソフトウェア開発系ともに企業の前向きな投資を受け、好況が続いています。そうした事業環境の中、当社の営業状況も好調に推移しています。背景としては、サイバー攻撃の巧妙化などセキュリティ脅威の拡大や、マイナンバー制度導入に向けた官公庁を中心とするインフラ整備、近年のクラウド化やスマートフォン等情報端末の発展に伴う需要のシフトなどが挙げられます。製造業における組み込みソフトウェアの導入も進み、ソフトウェア品質保証ニーズが増加しています。第2四半期までの業績は、売上・利益ともに計画以上の成果を上げることができました。クラウド関連事業への注力によるストック比率の上昇や、医療分野の来期黒字転換に向けた収益拡大も着実に進んでいます。

また、2016年1月からのマイナンバー運用開始控え、中央官庁におけるセキュリティ対策ニーズが拡大し、増収要因の一つとなりました。マイナンバー関連需要は今後、地方自治体や民間企業への波及が続き、さらには医療分野におけるマイナンバーの活用が進む形で、当事業の拡大につながることを期待されます。

新たな製品・サービス展開としては、セキュリティ分野やCRM分野の各種商材投入に加え、ソフトウェア品質保証分野では、オーストリア・Ranorex社と販売代理店契約を結び、同社製テスト自動化ツールの販売を開始しました。医療分野では、自社開発したクラウド型検査予約システム「TONARI」の導入を進めました。

A B L E G R O W T H

中期経営計画「TMX 3.0」が目指すもの

当期から始動した3ヵ年中期経営計画「TMX 3.0」は、「次の30年に向けた土台固めと方向付け」をテーマに掲げ、次世代のITサービスクリエイター・ITサービスプロバイダーをあるべき姿としています。これは、将来の産業および生活環境におけるITシステムの成熟化・一般化を見据え、専門的な技術の活用を仲立ちする従来型のシステムインテグレーターから、エンドユーザーが求める高付加価値な汎用サービスの提供を担うビジネスモデルへの転換を志向するものです。私たちは「TMX 3.0」の遂行を通じて、こうした長期ビジョンを実現するための基盤を構築していきます。





計画最終年度の数値目標である「売上高成長率(年)10%」「事業規模300億円」「ストック比率50%」「売上高営業利益率10%」の各設定は、市場成長の見通しと各部門の事業計画をもとに積み上げており、今のところ十分に達成可能な状況です。事業規模については、既存事業による成長の延長線上で250億円規模、そこに海外展開やM&Aの実施等による上乗せを想定しています。

海外展開の具体的な取り組みとしては、医療事業では、北京に設立した遠隔読影システムの合弁会社を軸に中国市場にフォーカスし、CRM分野では、ASEAN諸国を対象としたコンタクトセンターCRMのクラウドサービスを展開していく方針です。

一方、自社開発のオペレーションとして、ベトナム等を委託先とするオフショア開発を積極活用し、コストダウン・高収益化への体制を築いていきます。

計画初年度は、前述の通り第2四半期までの業績が好調に推移しており、通期業績目標をクリアすることで、定性面も確実に前進させていけるものと考えます。

当第2四半期連結業績（累計）

	期初予想 (百万円)	実績 (百万円)	前年同期比
売上高	9,600	10,138	17.8% 
営業利益	440	516	47.3% 
経常利益	440	518	51.0% 
親会社株主に帰属 する四半期純利益	270	296	40.2% 

株主の皆様にお伝えしたいこと

このたび当社は、第31期定時株主総会においてご承認いただき、監査等委員会設置会社に移行しました。独立役員による経営の監督機能を確保しつつ、取締役会を事業規模に見合った員数構成に留め、なおかつ常勤役員への権限移譲を促進することが狙いです。従来から当社取締役会では、監査役諸氏からの積極的な助言を経営に活かしており、そうした実態に基づくガバナンス強化策としてベストな選択であると考えています。

また、筆頭株主であった楽天株式会社による当社株式売却の意向を受け、2015年8月に同社が保有する株式の大半を自己株式として取得しました。その結果、楽天株式会社は当社第3位の大株主となりましたが、両社は引き続き良好な取引関係を維持してまいります。また取得した自己株式は、今後の機動的な資本政策の遂行に活かしていく方針です。

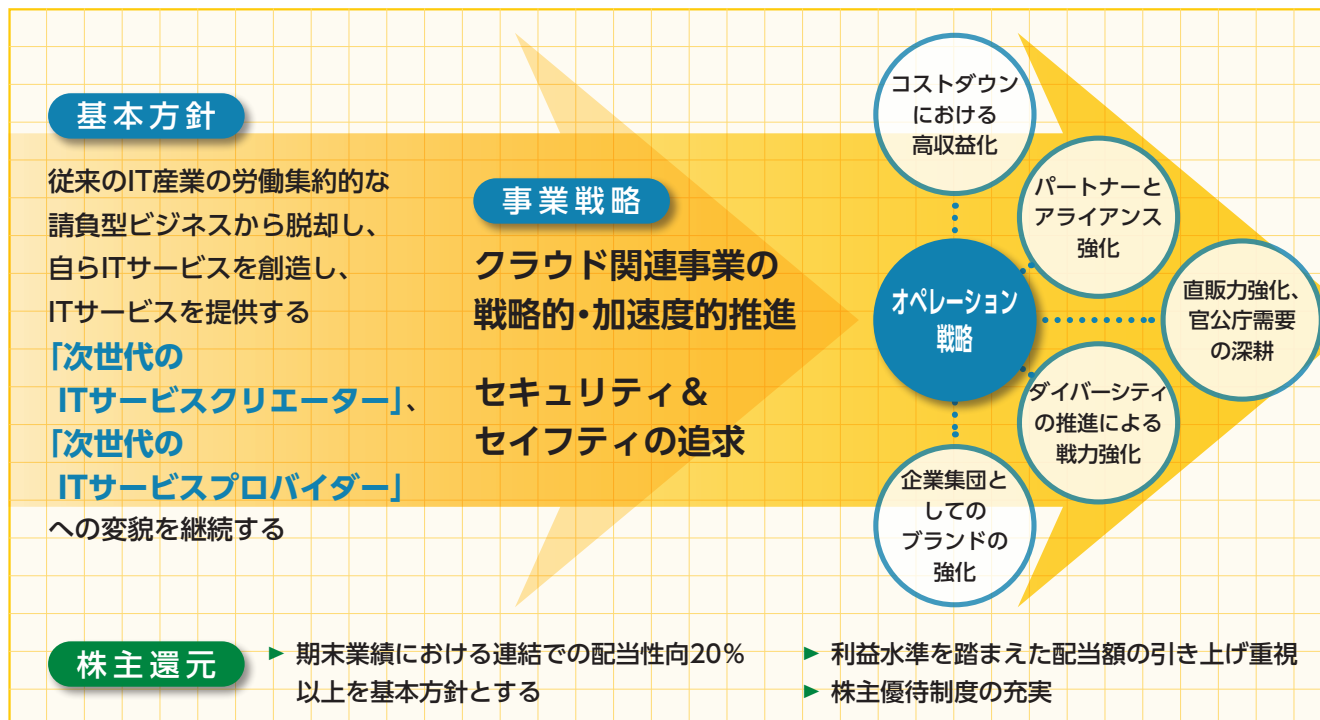
株主の皆様におかれましては、これからもう一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画 「TMX 3.0」

当社は、本年5月に中期経営計画「TMX 3.0」を策定いたしました。この「TMX 3.0」で掲げた目標を達成することにより、当社は持続的な成長を実現するより強い会社へと進化して行きます。

TMX 3.0 数値目標 (単位:百万円)	2015年 3月期(実績)	2016年 3月期(計画)	2017年 3月期(計画)	2018年 3月期(計画)
売上高	18,417	20,400	22,700	25,100
情報基盤事業	12,044	13,800	15,400	17,000
アプリケーション・サービス事業	6,373	6,600	7,300	8,100
営業利益	1,130	1,300	1,700	2,350
情報基盤事業	1,029	1,120	1,320	1,600
アプリケーション・サービス事業	101	180	380	750

テーマ: 次の30年に向けた土台固めと方向付け(成長遺伝子の確立)



重要な業績評価指標

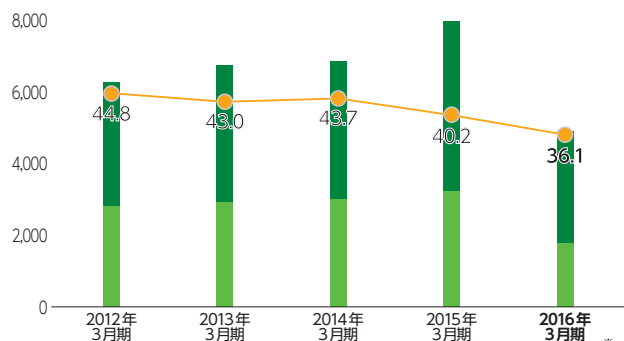
ストック比率

ストック比率とは保守・運用・監視サービス、クラウドサービスの売上全体に対する比率です。ストック型売上は、物品販売の「売り切り」とは異なり、サービス期間に応じて継続的に売上計上（経過処理）します。継続的な成長（売上）を遂げていくためには、ストック収益を中心とする事業構造へのシフトが不可欠です。情報基盤事業では物品販売とストック型売上をバランス良く成長させる40%程度が適切なストック比率です。アプリケーション・サービス事業ではクラウドサービスの売上高拡大により50%を目標としています。

KPI(Key Performance Indicator)

情報基盤事業 売上区分比率

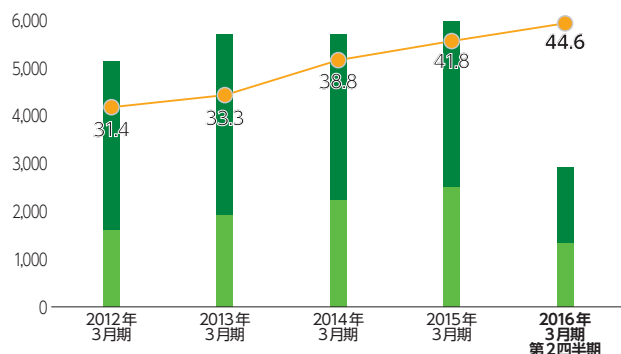
■ ストック ■ 非ストック (百万円)
● ストック比率 (%)



*大型案件による製品販売の比率が増加した為、一時的にストック比率が低下しております。

アプリケーション・サービス事業 売上区分比率

■ ストック ■ 非ストック (百万円)
● ストック比率 (%)



施策 1 中国で遠隔医療事業に関する合併会社設立

当社は、本年8月に北京ヘルスバンク・テクノロジー有限公司との合併会社「北京ヘルステック医療情報技術有限公司」を設立いたしました。

中国では、医師不足、また都市部と地方との医療格差を問題視する政府の後押しもあり、遠隔医療のビジネスが大きく飛躍しようとしています。また、中国の富裕層から日本の医療への期待は非常に高く、中国で撮影された医用画像を日本の医師が遠隔で診断を行うなど、遠隔医療は国境を跨ぐ形で活用されようとしています。

合併相手先である北京ヘルスバンク・テクノロジー有限公司は、富裕層向け医療ツーリズム事業を立上げています。両社で設立した合併会社で、両社の顧客、ネットワーク、技術、ノウハウを最大限活用し中国における遠隔医療事業に参入いたします。



施策 2 トランスコスモス(タイ)株式会社とタイにおける販売代理店契約締結

当社は、本年10月にトランスコスモス(タイ)株式会社と、コンタクトセンターCRM製品「Fastシリーズ」のタイにおける販売代理店契約を締結しました。

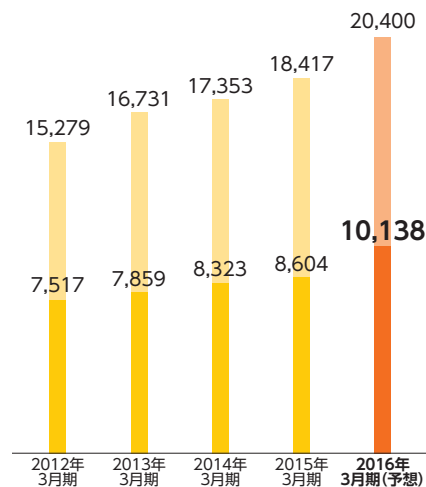
トランスコスモス(タイ)株式会社は、コンタクトセンターサービス日本最大手であるトランスコスモス株式会社のタイ現地法人です。タイ国内およびグローバル企業向けにコンタクトセンターサービスを提供しています。

「Fastシリーズ」は、当社が約20年に渡って積み重ねてきた経験・ノウハウ・技術を結集した、国内トップクラスの導入実績を誇る製品です。当社は、ASEAN地区を中心に「Fastシリーズ」の海外展開を進めており、すでに販売を開始しているマレーシア、インドネシアに続いて、タイへの進出は3カ国目となります。

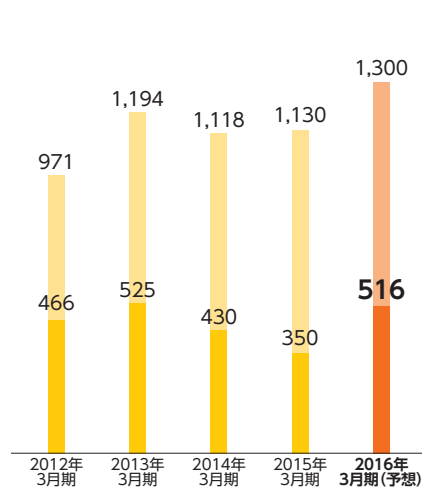


損益の状況／資産の状況

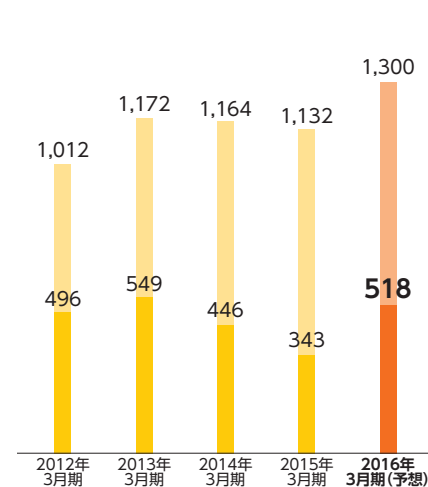
売上高 (百万円)



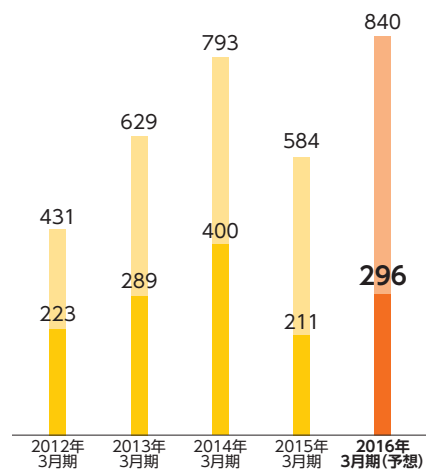
営業利益 (百万円)



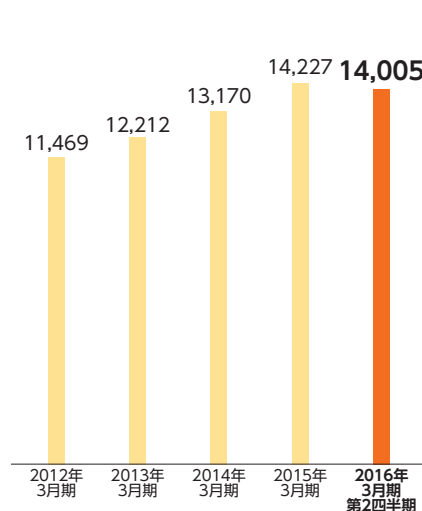
経常利益 (百万円)



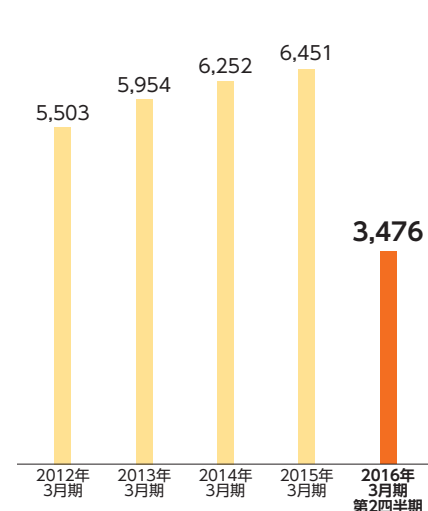
親会社株主に帰属する
四半期 (当期) 純利益 (百万円)



総資産* (百万円)



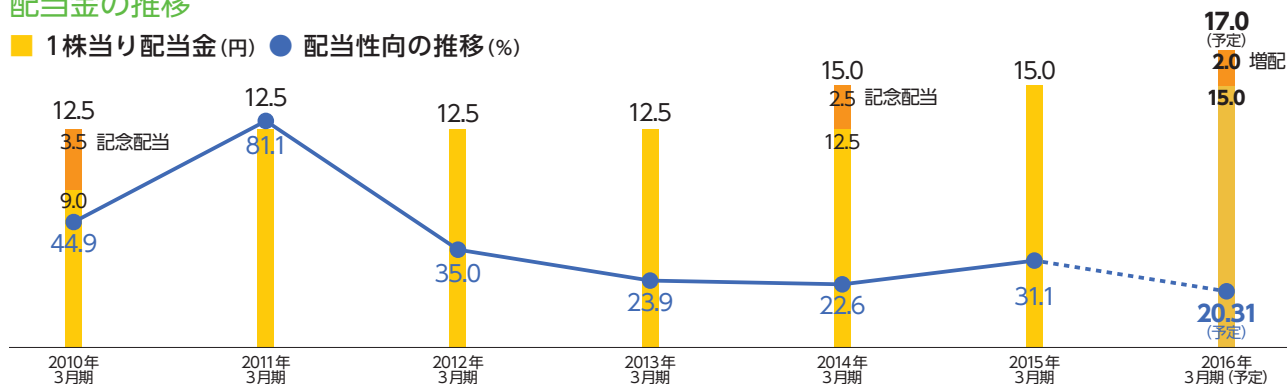
純資産* (百万円)



*総資産、純資産の減少は、2015年8月21日に当社筆頭株主である楽天株式会社保有する当社普通株式の一部である3,478,000株を総額30億64百万円で自己株式取得したことによるものです。

配当金の推移

■ 1株当たり配当金(円) ● 配当性向の推移(%)



※2013年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため2010年3月に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金を表示しております。

※2016年3月期の配当性向は、2016年3月期の業績予想と、2016年3月期の想定期中平均株式数で算出しております。

※2016年3月期の配当性向(予定)の低下は、2015年8月21日に楽天株式会社保有する当社普通株式の一部を自己株式として取得したことに伴い、当期末の予想1株当たり当期純利益が増加したことによります。

株主優待のご紹介

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

500株以上

1,000円相当の商品または寄付

1,000株以上

3,000円相当の商品または寄付

人気が高い商品を中心に、より皆さまにお喜びいただける内容を目指しています。

当社は、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を500株以上保有する株主様を対象に株主優待を実施しております。保有株式数に応じた価格帯から、食品や雑貨などお好きな商品または寄付を1点お選び頂く内容となっております。

株主優待の一例



横浜本牧亭
ビーフカレー



但馬牛
すき焼用



トンデンファーム
ソーセージ・ベーコンセット

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

IRカレンダー

2015年 12月 (予定) 個人投資家様向け説明会(大阪/名古屋)

2016年 1月29日 (予定) 第32期第3四半期決算発表

2016年 2月 (予定) 個人投資家様向け説明会(東京)

2016年 3月 (予定) 個人投資家様向け説明会(大阪)

2016年 5月 (予定) 第32期通期決算発表

2016年 6月 (予定) 第32期定時株主総会

■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)
設立 1984年8月30日
上場 2005年2月18日
証券コード 3762
資本金 12億9,812万円
従業員数 971名(連結)
本社所在地 〒108-8588 東京都港区三田3-11-24
国際興業三田第2ビル
TEL: 03(4405)7800(代表)
FAX: 03(6436)3500

■ 役員状況

代表取締役社長 由利 孝
取締役上席執行役員 依田 佳久
取締役上席執行役員 中島 裕生
取締役上席執行役員 矢井 隆晴
社外取締役 安武 弘晃
取締役(監査等委員) 小川 博章
社外取締役(監査等委員) 高山 健
社外取締役(監査等委員) 三浦 亮太
社外取締役(監査等委員) 杉原 章郎

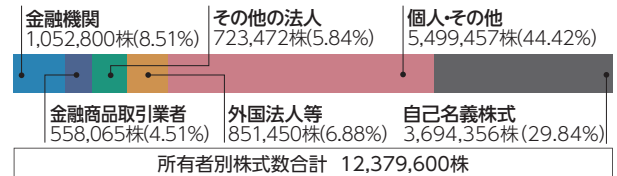
■ 株式の状況

発行可能株式総数 41,472,000株
発行済株式の総数 12,379,600株
株主数 3,555名

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
テクマトリックス株式会社	3,694,356	29.84
テクマトリックス従業員持株会	413,400	3.33
楽天株式会社	362,000	2.92
徳山 教助	354,500	2.86
熊谷 恵美	223,500	1.80
株式会社SBI証券	211,100	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	207,000	1.67
吉田 知広	166,000	1.34
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	150,500	1.21
志野 文哉	146,200	1.18

■ 株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
株主優待割当基準日 9月末
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による
事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合
は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.techmatrix.co.jp/>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承る事となっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
TEL: 03(4405)7800(代表) FAX: 03(6436)3500

